

～学期末授業参観・学級懇談、

ありがとうございました～

先週金曜日、1学期末の学級懇談会がありました。多数のご参会、誠にありがとうございました。学級担任からそれぞれの子どもたちの1学期の学習や生活の様子のお話をお聞きになったことと思います。4月当初に比べ、わずか3か月間ではありますが、子どもたちの育ちが少しずつ感じられるようになってきたのではと思います。

もうすぐ夏休みです。今年度から、学校教育目標に、『進んで』という文言を加えました。何事においても、人からの言葉を待つのではなく、自ら能動的に動くことができる子どもをめざすこととしています。夏休みの学習・生活でも、その視点を大事にして、子どもたちが有意義な夏休みを過ごすことができるよう、ご協力をお願いいたします。



“うんとこしょ、どっこいしょ”

～1年参観授業での劇発表～

1年生の国語の教科書に、「おおきなかぶ」という物語があります。おじいさんが「あまいあまいかぶになれ、おおきなおおきなかぶになれ」と願って植えたかぶの種が、願い通り「あまいあまい、おおきなおおきなかぶ」に育ちます。いよいよ、おじいさんが、「うんとこしょ、どっこいしょ」、かぶを引っ張りますが、ぬけません。それからおばあさん、まご、犬、猫、ねずみをそれぞれ呼んできて、みんなで「うんとこしょ、どっこいしょ」。やっと、かぶを抜くことができます。

同じ言葉の繰り返しやだんだんと小さな力が加わって大きなかぶが抜けるというお話のおもしろさがあります。入門期の1年生にとっては、お話に親しみ、動作を加えながら楽しく読み進められる教材です。

一通り学んだ子どもたちに、お話を劇にしておうちの人に伝えようと、相手意識をもって劇を演じることとなりました。「〇〇は、〇〇をよんできました」「かぶをおじいさんがひっぱって、〇〇を〇〇がひっぱって、・・・」と続いていきます。「うんとこしょ、どっこいしょ」「～、かぶはぬけません」の繰り返しのおもしろさ、さらには、登場人物の力が小さくなって加わるおもしろさ、このようなおもしろさの視点が体感的にとらえられているようで、楽しく劇を発表することができました。

子どもたちがめあてに沿った感想を述べた後、保護者からは、「6人で息を合わせてかぶを上手に引くことができ、すばらしかった」との感想をいただきました。子どもたちの達成感に裏打ちされた満足げな表情が、実に印象的でした。



～救命救急講習のご参加、お疲れさまでした～

万一という場面が無いのにこしたことはないのですが、まさに、“いざ”という時、慌てないため、知識や具体的体験は非常に役立ちます。

保護者の皆様、お疲れさまでした。



6月28日発行の大田っ子だよりでもお知らせしましたが、第1回学校運営協議会で話題となった、7月中の校庭の環境整備について、大田ふるさとづくり協議会の吉廣会長と本校学校運営協議会の野上会長、佐藤副会長、田邊委員、校長、教頭で話し合いを持ちました。

そして、9月の作業に加え、7月中にも実施した方が、作業の軽減が図られるのではということから、今回7月21日にも作業を行うこととなりました。回数は、1回増えたものの、確かに次回の草刈りの労力の軽減につながると思われます。

関係者の皆様には、大変ご負担をおかけすることになりますが、ご理解の上ご協力願えればありがたく存じます。